

キャラクター名 デクスタ プレイヤー名 _____

種族	ウィークリング	種族特徴	弱点(魔法+2)、暗視、剛力		
生まれ	練体士	性別	男	年齢	15~18
冒険者Lv	11	経歴	飛行船に乗ったことがある		
経験点	100		のめりこむ趣味がある 競い合う友人がいた		

技	8	能力値	A-F	成長	他修正	能力値	ボーナス	技能	Lv.	技能	Lv.
		器用度	7	17		32 + 2	5				
体	8	敏捷度	6	4		18	3	スカウト	9		
		筋力	12	24		44 + 2	7	レンジャー	1		
心	7	生命力	7	7		22 + 3	4	エンハンサー	6		
		知力	8	13		28 + 2	5	アルケミスト	2		
		精神力	5	1		13	2	ドルイド	11		

戦闘特技		能力値	備考
トレジャーハント	2120p		p
ファストアクション	2123p		p
影走り	2120p		p
必殺攻撃	1-288p		p
魔力撃	1-292p		p
変幻自在	1-282p		p
武器習熟A/ソード	1-281p		p
武器習熟S/ソード	1-281p		p
武器の達人	3-212p		p
			p
			p

言語	会話	読文
交易共通語	○	○
汎用蛮族語	○	○
魔動機文明語	○	○

練技/呪歌/騎芸/賦術	
マッスルベアー	
キャッツアイ	
ビートルスキン	
ストロングブラット	
ジャイアントアーム	
スフィンクスノレッジ	
クリティカルレイ	
バークメール	

技能	基本 レベル	基本 命中力	基本 回避力	基本追加 ダメージ
ファイター	0			
グラブラー	0			
フェンサー	11	16	14	18
シューター	0			

鎧と盾		必要 ランク 筋力 回避力 防護点			
鎧	ドントレシアの堅忍鎧		23	0	7
盾					
その他補正(防具習熟/回避行動 etc)					
回避技能	フェンサー		合計値	14	8

武器	用法	必要 筋力	命中 修正	命中力	C値	追加 ダメージ	威力	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
サーベル	1H	10		2d+ 16	9	21	10										
エストック	2H	11		2d+ 16	9	21	21										
古傷のファルシオン・カスタム	2H	20	1	2d+ 17	8	23	30										
おしゃれな定まらないイグナイト製ハイペリオンカスタム	2H	21	1	2d+ 18	8	25	58										
				2d+													
				2d+													
				2d+													
				2d+													

制限移動	通常移動	全力移動	回避	防護点	HP
3 m	18 m	54 m	2d+ 14	8	60

魔物知識/弱点	先制力	生命抵抗	精神抵抗	MP
2d+ 0/X	2d+ 12	2d+ 15	2d+ 13	48

魔法技能	Lv.	魔力	魔法技能	Lv.	魔力

装備品	説明
頭 スマルティエのヘッドバンド	HPが回復するたびにMP+ 1
耳 ディスプレイサー・ガジェット	その他+ 1
顔 ディスプレイサー・ガジェット	その他+ 1
首 スマルティエの銀鈴	その他+ 1
背中 ウェポンホルダー改	カードシューター収納
右手 叡智の腕輪	
腰 多機能ブラックベルト	その他+ 1
足 スマルティエのアソックスリブ	転倒ペナルティ修正- 1にする
その他スマルティエの怪力の腕輪	

装備品	説明
左手 宗匠の腕輪	
熊の爪	マッスルベアー効果+ 1

その他メモ	自動失敗 チェック
冒険に出た理由:神になる。 趣味は素振り	□□□□⑤
ミノタウロスのウィークリングとしてミノタウロスの縄張りにある洞窟の一室で生まれた。幼いころはほかのミノタウロスの子供にいじめられたり、バカにされられることは日常だったが、戦友と母のおかげでなんとか成長はできた。	□□□□⑩
ミノタウロスのウィークリングの出生率が高く、年の近いウィークリングの友達もいた。親友であり戦友だった。常に戦場では捨て駒、あるいは最前線に送り込まれていたが、戦友と背中を守り合い、互いを鼓舞し合い、なんとか戦いを乗り切った。平時は素振りの回数を競ったり、ミノタウロスにいじめられてた時は慰められたり、と何かと支えあった心友であった。ちなみに、手合わせは幾度ともやっているが負け越してある。いつか勝つことはデクスタの大きな目標の一つだった。	□□□□⑮
母親も子供を産む役割として奴隷としてではあるが生かされていた。母はライフォス神を信仰しており、デクスタに祈りや作法を教え、祈りによっていつか必ず助けがくると時折呟いた。しかし、デクスタにはそれは他力本願に思えた。そしてなにより、いくら母が強く願って自分たちに神さまは何も与えてくれないことに、懐疑心を抱いていたためあまり熱心にはならなかった。	□□□□⑳
	□□□□㉑
	□□□□㉒
	□□□□㉓
	□□□□㉔
	□□□□㉕

